

城北防災だより

2019/7/5

18号

城北地区防災対策協議会
事務局：城北地区公民館

大雨への備えをお願いします！！（内水氾濫：狐川）

西日本豪雨から1年が経過します。梅雨前線に向かって大量の水蒸気を含む空気が流れ込み、広範囲に大雨が長時間降り続いたことが原因だと言われています。7月3日00時から9日10時までの総降水量は、

■智頭：508.5mm [7月降水量の平年値：200mm少々]

■佐治：483.0mm ■若桜：447.0mm ■鹿野：392.5mm でした。

千代川の氾濫は、かろうじて（氾濫水域あと10cm）防ぐことが出来ました。

単純に比較することは出来ませんが、現在、九州に降り続けている大雨は、降り始めから、すでに1000mmを越えている地域があると報道（7月3日現在）されています。被害が少ないことを祈るばかりです。

雨量に着目した、城北地区の大雨への備えはどうでしょう？

「狐川」が城北地区を貫流しています。狐川には「狐川内水対策事業」として、内水被害を防ぐために狐川排水機場（ポンプ）が設置され、大雨の度に稼働し千代川に雨水を排水しています。

また、雨量が排水機場の許容量を超えた場合には、浜坂遊水池（重箱公園）に、雨水を流し込むように設計されています。

「狐川排水機場」と「浜坂遊水池」を一体利用することにより、計算上は「10年に1度の洪水」では沿川道路の浸水を防ぎ、「50年に1度」の洪水でも住宅の床上浸水を防ぐことが出来るとされています。

ところで、鳥取市北部の「50年に1度の雨量」をご存じでしょうか？
48時間降水量(mm)「357mm」が50年に1度の雨量です。（24時間降水量は201mm）

結論は、「48時間降水量(mm)で357mmを越える場合には、内水被害を防ぐことは出来ない。」ということです。気象状況に応じた、適切な対応を想定しておくことが重要です。7月8日開催の「城北地区避難訓練実行会議」では、「大雨」を想定した訓練について提案する予定です。

■『鳥取市防災リーダー養成研修受講者』を募っています！

標記の受講者を募っています。城北地区の、すべての地区に、「リーダー認定者」が複数いることを目指しています。本年度の研修日時は、7月28日・8月18日・9月8日の3日間です。（いずれも日曜日）受講申し込み期日が迫っています。受講希望者は公民館までお問い合わせください。



■中村克己さん(松並町区)が表彰されました！！

6月1日の鳥取市自主防災連合会（総会）において、長年にわたり自主防災会の役員・防災指導員として活動されてこられた功績が認められ、個人表彰を受賞されました。他町内の自主防災会に先駆けて、具体的に災害種を想定した避難行動誘導訓練・「支え合いマップづくり」等を企画し、運営されてきています。